

ポイント 各社で受取った配当金を連結法人・関係法人等・その他の株式等の受取り先毎に3区分します。連結法人間では負債利子については控除しません。

A7 計算例を確認してみましょう

各連結法人の受け取った配当金及び負債利子の合計額は以下のとおりであり、この場合の受取配当等の益金不算入額を計算します。

区分 連結法人	連結法人等		関係法人等		その他株式等	
	P社	①	20,000	④	15,000	⑧
S1社	②	1,000	⑤	2,000	⑨	300
連結計	③	21,000	⑥	17,000	⑩	2,300
負債利子			⑦	1,000	⑪	300

(1) 連結法人株式等

受取配当等の益金不算入額

$$=21,000 \text{ (③)} \dots \text{ ⑫}$$

(受取配当等の個別帰属益金不算入額の算式)

$$\begin{array}{l} \text{P社の受取配当等の} \\ \text{個別帰属益金不算入額} \end{array} = 21,000 \text{ (③)} \times \frac{20,000}{21,000} = 20,000 \dots \text{ ⑬}$$

$$\begin{array}{l} \text{S1社の受取配当等の} \\ \text{個別帰属益金不算入額} \end{array} = 21,000 \text{ (③)} \times \frac{1,000}{21,000} = 1,000 \dots \text{ ⑭}$$

(2) 関係法人株式等

受取配当等の益金不算入額

$$=17,000 \text{ (⑥)} - 1,000 \text{ (⑦)} = 16,000 \dots \text{ ⑮}$$

$$\begin{array}{l} \text{P社の受取配当等の} \\ \text{個別帰属益金不算入額} \end{array} = 16,000 \text{ (⑮)} \times \frac{15,000}{17,000} = 14,118 \dots \text{ ⑯}$$

$$\begin{array}{l} \text{S1社の受取配当等の} \\ \text{個別帰属益金不算入額} \end{array} = 16,000 \text{ (⑮)} \times \frac{2,000}{17,000} = 1,882 \dots \text{ ⑰}$$

(3) その他株式等

受取配当等の益金不算入額

$$= (2,300 \text{ (⑩)} - 300 \text{ (⑪)}) \times 50\% = 1,000 \dots \text{ ⑱}$$

$$\text{P 社の受取配当等の個別帰属益金不算入額} = 1,000 \text{ (18)} \times \frac{2,000}{2,300} = 870 \dots \text{(19)}$$

$$\text{S1 社の受取配当等の個別帰属益金不算入額} = 1,000 \text{ (18)} \times \frac{300}{2,300} = 130 \dots \text{(20)}$$

(4) 受取配当等の益金不算入額及び個別帰属益金不算入額

$$\text{受取配当等の益金不算入額} = \text{(12)} + \text{(15)} + \text{(18)} = 38,000$$

$$\text{P 社の個別帰属益金不算入額} = \text{(13)} + \text{(16)} + \text{(19)} = 34,988$$

$$\text{S1 社の個別帰属益金不算入額} = \text{(14)} + \text{(17)} + \text{(20)} = 3,012$$

—留意事項—

①関係法人株式等に該当するかどうかは連結グループ全体で判定します。

②短期所有株式等に係る配当は益金不算入の対象外となります。